

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【公表番号】特表2015-501645(P2015-501645A)

【公表日】平成27年1月19日(2015.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-004

【出願番号】特願2014-546169(P2014-546169)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	15/113	(2010.01)
A 0 1 K	67/027	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/517	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/5377	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
C 1 2 N	15/00	Z N A G
A 0 1 K	67/027	
C 1 2 N	5/00	1 0 2
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 K	31/517	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	31/5377	
A 6 1 P	17/02	

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A P A F - 1 の m i R - 2 2 1 / 2 2 2 結合部位の単離されたヌクレオチド 1 5 4 ~ 1 6 0 ( 5 ' - A T G T A G C - 3 ' ) ; B I M の m i R - 3 0 b / m i R - 3 0 c 結合部位の単離されたヌクレオチド 2 8 8 ~ 2 9 4 ( 5 ' - T G T T T A C A - 3 ' ) ; P K C - の m i R - 1 0 3 結合部位の 2 7 ~ 3 3 に相補的な単離されたヌクレオチド ( 相補配

列：3' - A C G A C G - 5' ) ; P K C - の m i R - 1 0 3 結合部位のヌクレオチド 1 5 1 7 ~ 1 5 2 3 に相補的な単離されたヌクレオチド ( 相補配列 : 3' - A C G A C G - 5' ) ; P K C - の m i R - 1 0 3 結合部位のヌクレオチド 1 5 6 4 ~ 1 5 7 0 に相補的な単離されたヌクレオチド ( 相補配列 : 3' - A C G A C G - 5' ) ; S R C の m i R - 2 0 3 結合部位のヌクレオチド 6 5 6 ~ 6 6 2 に相補的な単離されたヌクレオチド ( 相補配列 : 3' - U A A A G U - 5' ) ; S R C の m i R - 2 0 3 結合部位のヌクレオチド 1 1 1 6 ~ 1 1 2 2 に相補的な単離されたヌクレオチド ( 相補配列 : 3' - U A A A G G U - 5' ) ; S R C の m i R - 2 0 3 結合部位のヌクレオチド 1 5 9 5 ~ 1 6 0 1 に相補的な単離されたヌクレオチド ( 相補配列 : 3' - U A A A G U - 5' ) ; および S R C の m i R - 2 0 3 結合部位のヌクレオチド 1 7 0 6 ~ 1 7 1 2 に相補的な単離されたヌクレオチド ( 相補配列 : 3' - U A A A G U - 5' ) からなる群から選択される核酸を含む組成物。

【請求項 2】

5' - A T G T A G C - 3' ; 5' - T G T T T A C A - 3' ; 3' - A C G A C G - 5' ; および 3' - U A A A G U - 5' からなる群から選択される核酸を含む単離された核酸。

【請求項 3】

さらにプロモーター；エンハンサー；リピート；マーカー；およびレポーターからなる群から選択される要素を含む、請求項 2 に記載の単離された核酸。

【請求項 4】

プローブ、プライマー、m i R N A 、プラスミド、ベクター、ウイルス、細胞、または改変された生物である、請求項 2 又は 3 に記載の単離された核酸。

【請求項 5】

m i R - 1 0 3 ; m i R - 2 0 3 ; a n t i - m i R - 3 0 ; および a n t i - m i R - 2 2 1 からなる群から選択される少なくとも 2 種類の m i R N A を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

m i R - 1 0 3 ; m i R - 2 0 3 ; a n t i - m i R - 3 0 ; および a n t i - m i R - 2 2 1 からなる群から選択される少なくとも 3 種類の m i R N A を含む、請求項 1 又は 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

m i R - 1 0 3 ; m i R - 2 0 3 ; a n t i - m i R - 3 0 ; および a n t i - m i R - 2 2 1 を含む、請求項 1 及び請求項 5 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

化学療法処置用化合物；肺がんの化学療法処置用化合物；上皮成長因子受容体 ( E G F R ) 阻害剤；チロシンキナーゼ阻害剤 ( T K I ) ；セツキシマブ、パニツムマブ、ザルツムマブ、ニモツズマブ、およびマツズマブからなる群から選択されるモノクローナル抗体；又は、ゲフィチニブ、エルロチニブ、ラパチニブ、A P 2 6 1 1 3 、およびポテトカルボキシペプチダーゼ阻害因子からなる群から選択される小分子；をさらに含む、請求項 1 及び請求項 5 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

ゲフィチニブ、P K C - 発現アゴニスト、M E T 阻害剤、S U 1 1 2 7 4 、D I C E R 阻害剤、E - カドヘリン発現アゴニスト、アジュバント、賦形剤、または他の医薬的に許容できる組成物をさらに含む、請求項 1 及び請求項 5 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】

注射、注入、経口摂取または経膜輸送のために配合された、請求項 1 及び請求項 5 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 11】

哺乳類細胞において m i R - 1 0 3 および / または m i R - 2 0 3 の有効性を増大させ

、前記哺乳類細胞においてD I C E Rを下方制御することを含む、哺乳類細胞においてD I C E Rを下方制御するためのex vivo方法。

【請求項 1 2】

哺乳類がん細胞においてm i R - 1 0 3および／またはm i R - 2 0 3の有効性を増大させ、前記哺乳類がん細胞の移動を減少させることを含む、哺乳類がん細胞において移動を減少させるためのex vivo方法。

【請求項 1 3】

哺乳類がん細胞においてm i R - 1 0 3および／またはm i R - 2 0 3の有効性を増大させ、前記哺乳類がん細胞のE G F R化学療法耐性を減少させることを含む、哺乳類がん細胞のE G F R化学療法耐性を減少させるためのex vivo方法。

【請求項 1 4】

哺乳類がん細胞においてm i R - 1 0 3および／またはm i R - 2 0 3の有効性を増大させ、前記哺乳類がん細胞のゲフィチニブ耐性を減少させること又はゲフィチニブ感受性を増大させることを含む、哺乳類がん細胞のゲフィチニブ耐性を減少させるため又はゲフィチニブ感受性を増大させるためのex vivo方法。

【請求項 1 5】

哺乳類がん細胞においてm i R - 1 0 3および／またはm i R - 2 0 3の有効性を増大させ、前記哺乳類がん細胞内の間葉マーカーの発現を減少させることを含む、哺乳類がん細胞において間葉マーカーの発現を減少させるためのex vivo方法。

【請求項 1 6】

哺乳類がん細胞においてm i R - 1 0 3および／またはm i R - 2 0 3の有効性を増大させ、前記哺乳類がん細胞内のE - カドヘリン発現の発現を増大させることを含む、哺乳類がん細胞においてE - カドヘリン発現の発現を増大させるためのex vivo方法。

【請求項 1 7】

哺乳類がん細胞においてm i R - 1 0 3および／またはm i R - 2 0 3の有効性を増大させ、前記哺乳類がん細胞内の間葉上皮転換を誘導することを含む、哺乳類がん細胞において間葉上皮転換を誘導するためのex vivo方法。

【請求項 1 8】

前記間葉上皮転換がP K C - および／またはD I C E Rにより誘導される、請求項17に記載の方法。

【請求項 1 9】

哺乳類がん細胞においてm i R - 1 0 3および／またはm i R - 2 0 3の有効性を増大させ、前記哺乳類がん細胞のプログラム細胞死を誘導することを含む、哺乳類がん細胞においてプログラム細胞死を誘導するためのex vivo方法。

【請求項 2 0】

哺乳類がん細胞においてm i R - 1 0 3および／またはm i R - 2 0 3の有効性を増大させ、前記哺乳類がん細胞内のA K T / E R Kを下方制御することを含む、哺乳類がん細胞においてA K T / E R Kを下方制御するためのex vivo方法。

【請求項 2 1】

前記がん細胞が肺がん細胞である、請求項12～20のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記がん細胞が非小細胞肺腺癌細胞である、請求項12～20のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 2 3】

前記がん細胞が表皮癌細胞である、本特許請求の範囲における請求項12～20のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 2 4】

腫瘍増殖阻害を必要とする哺乳類において腫瘍増殖を阻害するための、創傷治癒の促進を必要とする哺乳類において創傷治癒を促進するための、又は、非小細胞肺癌を治療するための、請求項1及び請求項5～10のいずれか1項に記載の組成物。

**【請求項 25】**

ゲフィチニブを 5  $\mu$  M、10  $\mu$  M 又は 15  $\mu$  M の濃度で含む、請求項 9 に記載の組成物。

**【請求項 26】**

非小細胞肺癌内のチロシンキナーゼ阻害剤 (TKI) 感受性を増大させるための、請求項 1、請求項 5 ~ 10 及び請求項 24 ~ 25 のいずれか 1 項に記載の組成物。

**【請求項 27】**

請求項 1、請求項 5 ~ 10 及び請求項 24 ~ 26 のいずれか 1 項に記載の組成物を含むキット。

**【請求項 28】**

請求項 1、請求項 5 ~ 10 及び請求項 24 ~ 26 のいずれか 1 項に記載の組成物を含む細胞。

**【請求項 29】**

請求項 1、請求項 5 ~ 10 及び請求項 24 ~ 26 のいずれか 1 項に記載の組成物を含むマウス。